

ANNUAL REPORT

2024

認定特定非営利活動法人

ファミリーハウス®

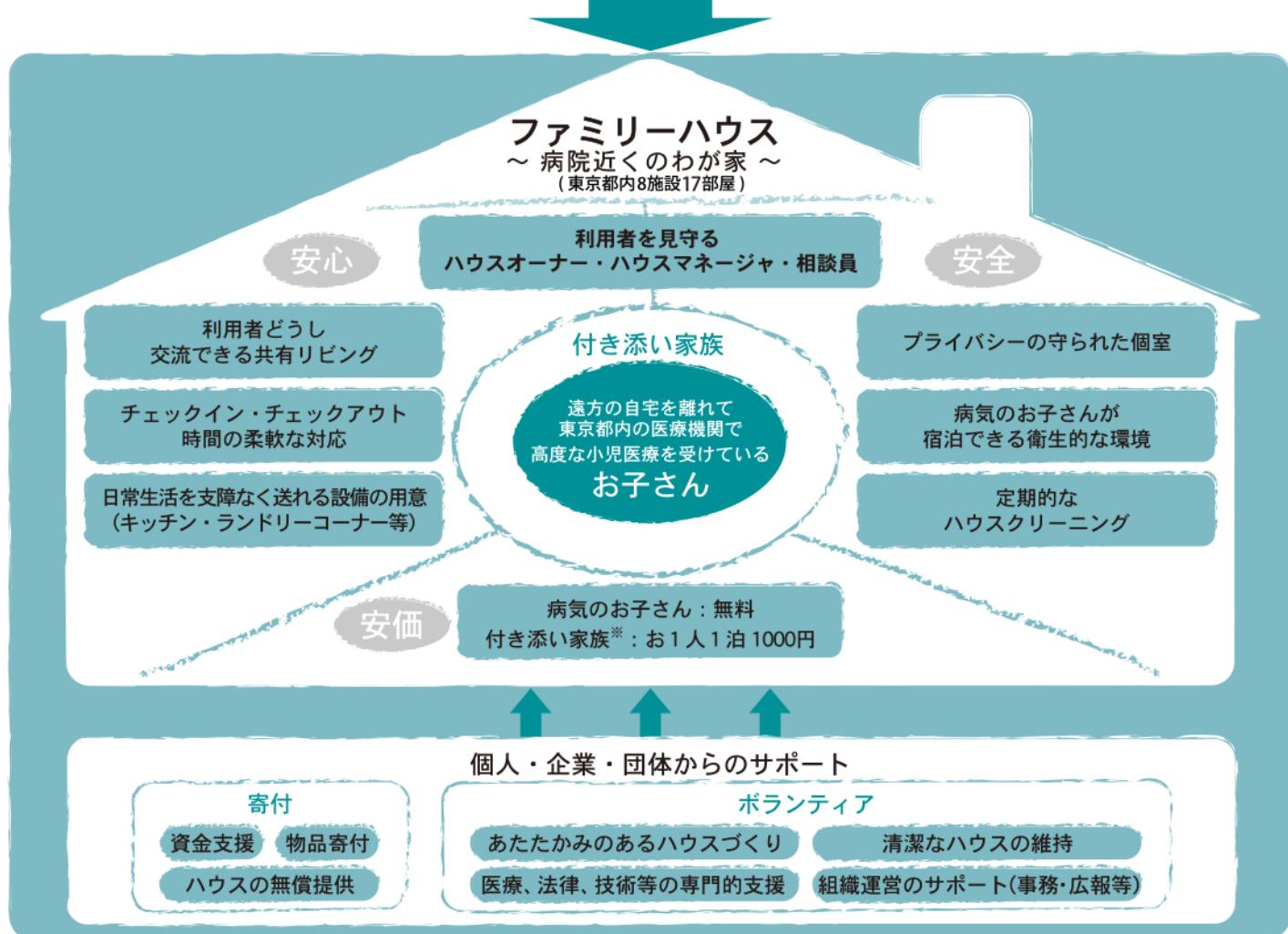
病気の子どもと家族のための滞在施設



© Yuriko Yamawaki 2006

# 認定NPO法人ファミリーハウスの取り組み

- 先端医療を必要とする子ども
  - ・小児がんや慢性心疾患などの小児慢性特定疾患の病児10万人以上
  - ・東京都内には多くの高度専門病院
  - ・地元で先端医療が受けられない場合は上京
- 付き添い家族の重要性
  - ・病気の子どもの治療効果の向上
  - ・治療方針の意思決定への参加
  - ・病気の子どもの精神的な支え
- 家族の負担
  - ・基準看護の病院では、付き添い家族の宿泊不可
  - ・闘病や、地元と病院の二重生活などによる精神的負担
  - ・治療費、交通費、宿泊費などの経済的負担
  - ・付き添い生活による身体的負担



※未就学のきょうだいは、お一人様まで無料です。

## 認定NPO法人ファミリーハウスの成り立ち

- 1991年 国立がんセンター中央病院小児病棟「母の会」(現在「コスマソス会」)から、長期闘病生活の中での滞在施設の要望が強くなる  
1993年 遠方から治療にくる病気の子どもを対象とした、日本初の専用滞在施設を開設(がんがるーの家)  
1995年 設立当初より中心的に関わっていた国立がんセンター中央病院小児科医長(当時)故 大平睦郎氏が代表理事に就任  
1999年 特定非営利活動法人(NPO法人)格を取得  
2010年 認定特定非営利活動法人として国税庁から認定  
2014年 認定特定非営利活動法人として東京都から認定(2021年1月25日再認定)

## 組織概要 2024年5月末現在

[役員]	2024年5月末現在					
理 事 長	江口 八千代	元 独立行政法人国立病院機構 相模原病院 看護部長				
副 事 長	細野 亜古	国立研究開発法人国立がん研究センター 東病院 小児腫瘍科 医長				
	牧原 晋	元日本電気株式会社 執行役員常務				
理事/事務局長	植田 洋子					
理 事	石田 也寸志	岩瀬 貴美子	植田 洋子	小澤 敦子		
	加納 裕久	小山 健太	酒井 三貴子	田中 初美		
	芳賀 圭子	長谷川 幸恵	久田 満	柳町 玲		
監 事	成瀬 実	豊岡 桃太				
[顧問]	2024年5月末現在					
	川瀬 量平	前ファミリーハウス副理事長				
	福川 辰郎	元三菱UFJ信託銀行横浜支店長				
		元千代田化工建設常勤監査役				

# 2023年度レポート 2023年4月1日～2024年3月31日

## 概観

### ●ハウス利用実績

施設数：8施設17部屋

利用人数：延べ 337家族

(延べ 5,890人)

利用日数：延べ 3,810日

本法人活動開始以来の

利用実績累計：延べ 20,015家族

延べ 183,737日

### ●利用受付・相談実績

利用受付・相談の電話総数：2,382件

利用者への面談件数：1,152件

### ●2023年度活動計算書

(単位:円)

科 目	金 額
【経常収益の部】	
会費	535,000
受取寄付金	40,699,088
ハウス運営事業収益	4,220,000
ハウス運営受託事業収益	3,300,000
その他収益	1,428,656
経常収益合計	50,182,744
【経常費用の部】	
運営相談事業費	34,471,303
運営受託事業費	3,466,144
広報活動費	3,966,219
ネットワーク会議費	400,524
管理費	3,932,540
「理想の家」建設積立金	5,000,000
経常費用合計	51,236,730
経常増減額	-1,053,986

## 活動報告

### ハウス関連

#### 「ひつじさんのおうち」(世田谷区) 増室

2023年9月、エイブル保証株式会社の支援をいただき、2部屋増室することができました。感染予防に配慮しながら、延べ37名のボランティアの協力により短期間で開設準備を行い、10月から国立成育医療研究センターの患者家族の受け入れを開始しました。計6部屋となった「ひつじさんのおうち」は満室での利用が続いています。



#### 「うさぎ農園」の活動強化

公益財団法人公益推進協会の助成を受けて、「うさぎさんのおうち」「かちどき橋のおうち」「おさかなのおうち」(中央区)の1階花壇で運営している「うさぎ農園」の花や野菜の植替え、土作り、農園の季節の飾りなどの飾り付け、ボランティアによる活動、農園だよりの作成等を実施しました。上記3ハウスを利用する、特に重症度の高い患者と付き添い家族に、採れたての野菜や農園情報を届けることができました。また、うさぎ農園を通じてコミュニティが形成されつつあり、患者や家族のエンパワメントを実現することができました。



#### 安全衛生研修会の実施

積水ハウスマッチングプログラムの助成を受けて、主にスタッフ、ボランティア対象に安全衛生マニュアルとガイドラインを用いた安全衛生の研修会を実施しました(リモート及びハウスでの対面実施)。出席できなかったメンバーにも共有できるよう教材の動画も製作しました。



#### 「理想の家プロジェクト」の推進

医療的ケアが必要な子どもも家族と一緒に安心して過ごせる新ハウスを築地市場跡地に開設できるように、定期的なプロジェクトミーティングや、東京都、厚生労働省、国立がん研究センター中央病院などの関係機関、専門家と情報交換・意見交換をしながら様々な活動に取り組んでいます。

## ボランティア関連

### ☀ ハウスを支えるボランティア活動

感染症対策を継続しながら、ボランティアの皆さんとの高い意識と工夫により滞りなくハウスを運営することができました（延べ活動回数285回、延べ活動人数732名）。



### ☀ オンライン・ボランティア説明会の開催

ボランティア希望者の活動への理解を深めてマッチングを図るために、ボランティア説明会を35回開催。2023年度新規登録者数は28名、2024年3月現在の登録ボランティアは253名。

### ☀ 企業社員ボランティアとの協働

ハウスでの活動のほかオンラインによる活動紹介やプログラムも含めて、合計56回実施して、941名の企業社員がボランティア参加しました。オンラインを活用して、ハウスでの活動が難しい企業の社員の方々にも活動を紹介し、協力いただく機会を得ることができました。



## 広報関連

### ▶ 東京マラソン2024チャリティ

2024年3月3日、ファミリーハウスを支援するチャリティランナー165名が東京マラソン2024に出走しました。2月29日～3月2日の東京マラソンEXPO 2024と大会当日のチャリティラウンジにブース出展して、チャリティランナーに直接お会いすることができました。大会当日は、当法人事務局前の靖国通りにおいて沿道応援も実施しました。



### ▶ 第24回 J H H H ネットワーク会議の開催

2024年2月11日、当法人主催で「患者家族滞在施設と緩和ケア」をテーマにオンライン形式で開催しました。国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科診療部長・小児がんセンターがん緩和ケア科診療部長 余谷暢之先生による講演「子どもたちに緩和ケアを届けるために大切にしたいこと」のあと、分科会では全国のハウス運営団体13団体58名（申込み67名）の参加者が意見交換をしました。



### ▶ チャリティーコンサートでのブース出展

2023年9月16日、「淡野ゴスペルクワイア チャリティーコンサート2023」が開催されました。4年ぶりの開催となる会場はほぼ満員、当法人もチャリティ寄付先団体としてブースを出展し、活動紹介を実施しました。



### ▶ ホームページのリニューアル

The UPS Foundationの助成を受けて、当法人のホームページを全面的にリニューアルして、2023年12月19日に公開しました。従来よりも、見やすい構造にするとともに、英語ページを増強しました。

自宅とも、病院ともちがう、ふつうの生活。

The website features a traditional Japanese house with rabbits in front, and text in English and Japanese.

### ▶ 実習受入、学会発表

東京慈恵医科大学大学院および医学部看護学科、東京墨田看護専門学校などの実習や見学を受け入れました。日本家族看護学会第30回学術集会シンポジウム、第23回中部トータルケア研究会、第43回小児がん緩和ケアレクチャー（主催：国立成育医療研究センター小児がん拠点病院事業小児がん相談支援センター）などにおいて発表しました。

# 事業の内容

## ハウス運営事業（8施設 17部屋）2024年5月末現在

ひまわりのおうち  
(東京府中市 2部屋  
2010年開設)



ちいさいおうち  
(東京都港区 1部屋  
2002年開設)



カピバラの家  
(東京都墨田区 1部屋  
2022年開設)



かちどき橋のおうち  
(東京都中央区 3部屋 2014年開設)



ひつじさんのおうち  
(東京都世田谷区 6部屋 2005年開設)



うさぎさんのおうち  
(東京都中央区 2部屋  
2011年開設)



JPルーム  
(東京都中央区 1部屋  
2006年開設)



おさかなのおうち  
(東京都中央区 1部屋  
2020年開設)



### 利用受付

時間：月～金  
10時～18時  
電話：03-6206-8374

## 相談事業

子どもが病気になったことから、遠く自宅を離れ、わが子とともに闘病することとなった家族の方々が直面するさまざまな困難について、ともに問題の解決をはかるために、ご相談をお受け致します。

例えば以下のような点でお悩みの時

- ・滞在施設に関するこ
- ・長期入院、遠距離通院に伴うこと
- ・看病に伴うこと
- ・地元と病院の二重生活に伴うこと
- ・その他

受付時間

月～金 10時～18時

受付電話番号

03-6206-8374

相談料

無料

相談員

相談には専門のスタッフがあたります。

# 認定NPO法人ファミリーハウス支援のお願い

## 1. 寄付によるご支援

### ・寄付金でのご支援

a. 下記の口座に郵便振替でお振り込みください。

郵便口座名義：「ファミリーハウス基金」

郵便振替口座 / 00180-1-654419

b. インターネット上からクレジットカードによる寄付もできます。詳しくはファミリーハウスのホームページをご覧ください。

(ファミリーハウスでは、寄付金を頂いた皆さまを「後援会員」とさせていただいております。)

### ・物品でのご支援

a. プリペイドカードの寄付

(図書、百貨店、クオなど各種カード)

b. 「ファミリーハウス」で使用される物品の寄付  
(家電製品、衛生用品、家庭用品、食料品など。

原則として新品に限る)

## 2. ボランティアとしてのご支援

- ・あたたかみのあるハウスづくりへのサポート
- ・医療・法律・技術等の専門的サポート

### ・清潔なハウス維持へのサポート

### ・組織運営のサポート(事務・広報等)

## 2023年度にご支援いただいた皆様

正会員数 99 寄付者数(後援会員数) 683

Macquarie Group Limited, THE AMERICAN CHAMBER OF COMMERCE IN JAPAN, 味の素株式会社、アステラス製薬株式会社、アストラゼネカ株式会社、足立医院、淡野ゴスペルクリーグ、医療法人一丸堂、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社、乾汽船株式会社、株式会社エアヘッドコンサルティング、エイブル保証株式会社、株式会社エイブル、株式会社A&Eプロダクション、ASP Japan 合同会社、エドワーズライフサイエンス財團、NECキャピタルソリューション株式会社、太田鉄筋有限会社、株式会社大塚商会、幼き聖マリア修道会、オリンパス株式会社、音楽室ゆらぎ、花王株式会社、魚らん銀座商店会協同組合、株式会社クラ・ゼミ、特定非営利活動法人Glovill、公益財團法人公益推進協会、ゴールドマン・サックス証券株式会社、国際基督教大学教会ハンドベルクワイア ジョイフルリングアーズ、コスモエネルギーホールディングス株式会社、柳原記念病院医療連携室、佐野味噌醤油株式会社、株式会社サンリオ、三和グループ社会貢献俱楽部、株式会社ジェーシービー、公益財團法人社会貢献支援財團、「Jazz Night in ひろしま」実行委員会、ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループJAPAN COMMUNITY IMPACT、隨應寺、住友生命保険相互会社、宗教法人聖心会、聖心女子学院 中・高等科 泉の会、聖心女子学院同窓生有志「グループ五つの星」、聖心女子大学同窓会宮代会、公益財團法人生命保険文化センター、株式会社セールスフォース・ジャパン、積水ハウス株式会社、積水ハウススマッキングプログラムの会、株式会社セリア、センコー株式会社、宗福寺、第一三共株式会社、株式会社大和証券グループ本社、武田薬品工業株式会社、社会福祉法人千代田区社会福祉協議会、司機工株式会社、株式会社DEERS FOOTBALL CLUB 腹内DEERS、一般社団法人東京アリカンクラブコネクションズ、東京建物株式会社、東京ロータリークラブ、トーア再保険株式会社、トキサイン・ジャパン株式会社、株式会社虎屋、株式会社トワ・スール、一般社団法人日本カウンターインテリジェンス協会、公益社団法人日本フィランソロピー協会、一般財團法人日本メイスン財團、日本メトロニック株式会社、日本Rimini Street株式会社、ノバルティスマーチ株式会社、株式会社ビースワン、光と風エネルギーを安原智子基金、ヒビノ株式会社、BIPROGYグループ社会貢献クラブ「ユニハート」、株式会社福祉医療共済会、フコク生命保険相互会社東京支社外野クラブ、ブルームバーグ・エル・ピー、坊主BarWatanuki、ポールハイスティングス法律事務所・外国法共同事業、公益財團法人毎日新聞東京社会事業団、株式会社松勘、みずほ証券株式会社、三井住友信託銀行、株式会社三菱UFJ銀行、明治安田生命保険相互会社企画部、メリノール女子修道会、株式会社ユーサン、リコーリース株式会社、有限会社リバーピル、レンドリース・ジャパン株式会社、Loadstar株式会社

※ 「ハウス運営・相談事業費」の一部は、エドワーズライフサイエンス財團の助成を受けて運営しました。

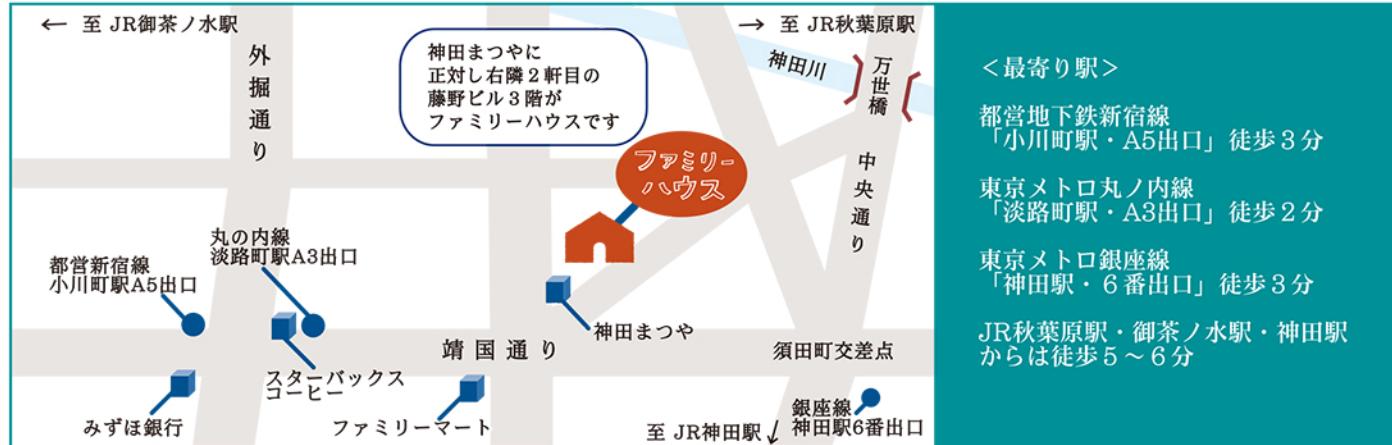
※ 「ハウス運営・相談事業費」の一部は、公益財團法人公益推進協会の助成を受けて運営しました。

※ 「ハウス運営・相談事業費」の一部(患者家族滞在施設の安全衛生マニュアル定着に向けての研修プログラム)は、積水ハウススマッキングプログラムによる助成を受けて実施しました。

※ 「ハウス運営・相談事業費」の一部は、一般財團法人日本メイスン財團の助成を受けて運営しました。

※ 「ハウス運営・相談事業費」の一部は、The UPS Foundationの助成を受けて運営しました。

このほか、紙面の都合上記載できませんが、ご支援いただいた個人、および企業、団体の皆様ご協力ありがとうございました。



認定特定非営利活動法人

**ファミリー・ハウス**

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町1-13-5 藤野ビル3階

電話 03-6206-8372

FAX 03-3256-8377

E-Mail jimukyoku@familyhouse.or.jp

URL https://www.familyhouse.or.jp

SNSのフォローもお願いします！

公式サイト



公式X  
(旧Twitter)



公式YouTube



© Yuriko Yamawaki 2006